

# 県立多治見病院 緩和ケアチーム通信

発行：県立多治見病院緩和ケアチーム 2020年1月号 vol.104  
文責：山路 佐知・マイケル ケイン

令和2年、令和として初めての新年を迎えました。緩和ケアチーム通信を書くにあたり、緩和ケア病棟開設当初(平成22年6月開設)からの通信を読み返しました。

緩和ケアチームは医師、看護師、薬剤師、栄養士、リハビリ、MSWなどいろいろな職種が集まり、それぞれの専門から、緩和に関して情報や知識を提供して頂き、患者ケアに活かされています。

緩和ケアチームの一員として属した緩和ケア病棟師長としての役割は、チームメンバーと連携し、患者・家族と早い段階で関わり、病棟案内や緩和ケア外来に同席することで、緩和ケアについて理解していただき、その人らしく生きていく手助けができればと考えています。

また地域との連携も在宅支援していることから欠かせません。訪問診療・看護をして下さるスタッフの方々には、日々本当に頭が下がる活躍です。困ったときはいつでも受け入れられるように体制を整えている所です。

今年もスタッフ ONE TEAM、協力していきたいと思います。

文責：山路 佐知



がん対策基本法に基づき、がん診療拠点病院では、緩和ケアチームに協力する医療心理に携わる者を配置するのが望ましいとされ、令和元年から、当院でもがん患者の緩和ケアにおける臨床心理士の介入が始まっています。心理士には、心理アセスメント・心理的介入が求められます。具体的には、心理的支援が必要な患者の同定とケア、および患者の心理療法に対する抵抗感に配慮して導入と段取り等といった患者家族への対応があります。心理士の先生の活躍に期待します。

文責：マイケル・ケイン

## 第5回

## 緩和ケア勉強会のお知らせ

日時：2月13日(木) 18:00~19:30

場所：中央診療棟3階講堂

内容：放射線療法のアップデート

\*質問、ご意見などございましたら、kanwa@tajimi-hospital までメールでご連絡ください。